

直売、海外展開など多様な販路で収益性を確保 ～農事組合法人高和第一生産組合～

経営体の概要

現在：平成28年
 基幹作物：なし、かき、もも、みかん、ぶどう
 経営面積：45ha（樹園地露地）

取組の経緯と経営転換のポイント等

前歴事業を契機に、なし、ぶどうの大規模果樹園経営の実践を目指して、昭和50年12月に高和集落103戸のうち22戸によって設立された。個人の働きやすい管理体制とするため、剪定・施肥・収穫作業は個人管理とし、防除や出荷・販売は共同作業で行う「アパート方式」で栽培し、作業の責任を明確化して、生産性と収益性を確保している。

営農改善のポイント

①作物の変化

事業を契機に植栽したワイン専用ブドウは、消費の低迷から平成15年及び平成20年に、かき、もも、みかん等に改植された。現在、品種更新を試みながら、なし（24ha）を主体に栽培し、他果樹の植栽も検討している。

②単収・品質の向上

なしは、特に水が必要な果樹であるため、スプリンクラーを適時利用し、単収と品質の向上に努めている。また、ほ場には牛ふんたい肥を施用するとともに、糖度を上げるための無袋栽培や、ヤガ類やカメムシ類などが嫌う黄色蛍光灯を設置し、品質の向上に取り組んでいる。

各ほ場で収穫されたなしは集荷場に集め、品質基準を統一するため共同出荷・選果作業が行われている。

③流通・販売の工夫

出荷先は、法人所有の直売所（三水園、高和）や道の駅等である。同法人が出荷・販売するなしは、「三水梨」の商品名で販売され、現在、JAを通じて海外（香港など）への出荷や大手食品店で贈答用としても販売され、消費者の人気も高い。今後も販路の拡大に取り組み、収益性の確保を図っていく。



なしの樹園地



防虫用に設置された黄色蛍光灯



「三水梨」

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
 関係市町：兵庫県神戸市、明石市、加古川市、
 三木市、加古郡稲美町
 受益面受：7,313ha
 事業期間：平成25～33年度
 事業目的：用水改良
 主要工事：ダム2箇所、揚水機場1箇所、
 用水路L=14.9km等

位置図（兵庫県）



東播用水二期地区

<問い合わせ先>

近畿農政局 農村振興部
 農村環境課 営農担当
 電話：075-451-9161
 （内線2452）

（平成28年度調査時点）